

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第9期第3四半期(平成25年4月1日～平成25年12月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

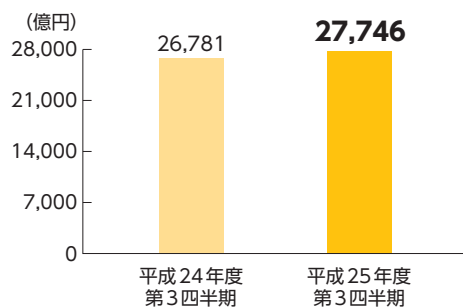
証券コード：8306

平成25年度第3四半期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結第3四半期純利益(平成25年4月～12月)は、7,854億円と、通期業績目標9,100億円対比86%の進捗
- 貸出金は平成25年9月末比4.8兆円増加。預金は、6.7兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、11.16%

連結業務粗利益



資金利益は、海外貸出が順調に伸びたことに加えて為替の影響もあり、前年同期比841億円増加しました。信託報酬・役員取引等利益は、運用商品の販売や投資銀行業務、証券子会社の株式関連業務に関する手数料収入が好調に推移し1,376億円増加しました。特定取引利益・その他業務利益は、国債等債券関係損益の影響により1,251億円減少しましたが、同影響を除けば944億円の増加となりました。

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
資金利益	
信託報酬+役員取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費(△)	
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額(△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益(△)	
連結四半期純利益	

(単位：億円)

平成24年度第3四半期 (平成24年4月～12月)	平成25年度第3四半期 (平成25年4月～12月)
26,781	27,746
13,098	13,939
7,842	9,218
5,840	4,588
3,443	1,247
15,239	16,860
11,541	10,886
△ 1,035	407
△ 909	627
202	865
△ 434	△ 190
9,364	12,596
△ 271	△ 275
2,829	3,277
938	1,189
5,324	7,854

営業費

円安の影響に加え、海外業務の拡大や国際金融規制への対応に関する費用の増加により、前年同期比1,620億円増加しました。

与信関係費用総額*

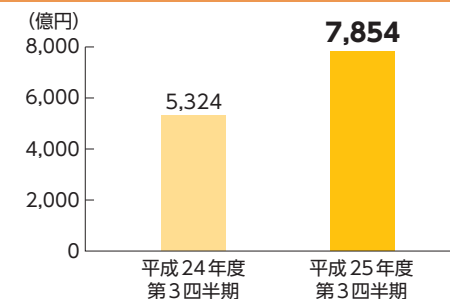
貸倒引当金の大幅な戻し入れなどにより、407億円の戻り益を計上しました。

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

株式等関係損益

株式等償却の減少と株式等売却益の増加により、前年同期比1,536億円改善し627億円の利益を計上しました。

連結第3四半期純利益

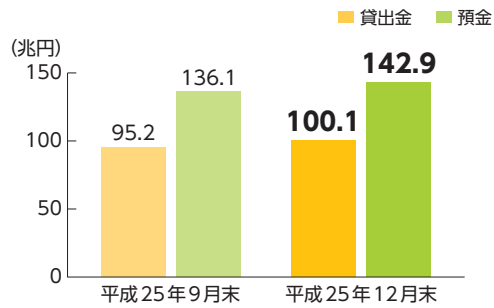


モルガン・スタンレーの好調な業績を反映し、持分法による投資損益が改善したほか、退職給付費用の改善によるその他臨時損益の改善もあり、連結第3四半期純利益は、前年同期比2,529億円増加、通期目標(9,100億円)対比進捗率86%の7,854億円となりました。

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

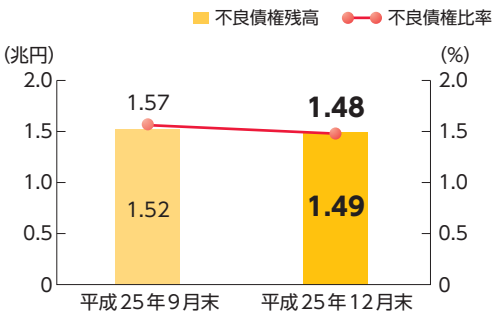
平成25年度第3四半期の業績

貸出金・預金



貸出金残高は、アユタヤ銀行の連結子会社化に加え、国内法人貸出や海外貸出が増加したことや為替の影響により、平成25年9月末比4.8兆円の増加となりました。預金残高も、アユタヤ銀行の連結子会社化や個人および海外での増加により、6.7兆円の増加となりました。

不良債権残高・比率*



不良債権比率は1.48%と、平成25年9月末比0.08ポイント低下しました。

* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	2,422,229	2,584,417
貸出金(銀行勘定)	952,452	1,001,213
有価証券	771,138	782,890
うち国債	412,701	389,146
負債の部合計	2,278,945	2,438,324
預金	1,361,283	1,429,046
純資産の部合計	143,283	146,093

不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)	15,217	14,922
不良債権比率	1.57%	1.48%

有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益	18,110	19,532
-------------	--------	--------

自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	11.77%	11.16%
Tier1比率	13.12%	12.11%
総自己資本比率	16.84%	15.50%
リスク・アセット	914,485	994,794

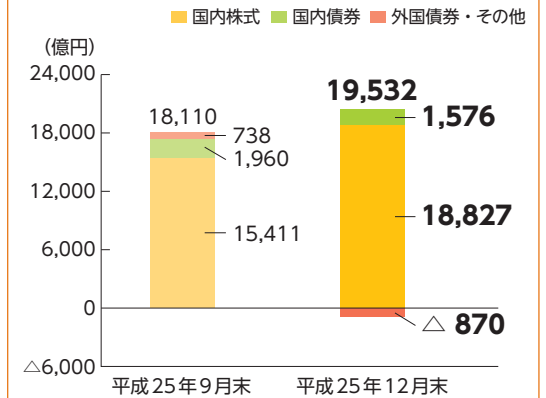
(単位: 億円)

	平成25年9月末	平成25年12月末
資産の部合計	2,422,229	2,584,417
貸出金(銀行勘定)	952,452	1,001,213
有価証券	771,138	782,890
うち国債	412,701	389,146
負債の部合計	2,278,945	2,438,324
預金	1,361,283	1,429,046
純資産の部合計	143,283	146,093

国債

国債保有残高は、平成25年9月末比2.3兆円減少しました。引き続き、安定保有を原則としつつ、市場環境を踏まえた適切な運用を継続していきます。

有価証券の含み損益



国債および外国債券の評価損益が悪化したものの、国内株式の評価益が増加したことにより、平成25年9月末比1,422億円の増加となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は11.16%と、十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

MUFGは、コーポレート・ガバナンス(企業統治)態勢の適切な構築・運営を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、「社外の視点」を重視した安定的で実効性の高いガバナンス態勢の充実に努めています。

ここでは、MUFGのガバナンス態勢強化に向けた取り組みをご紹介します。

取締役会・委員会

MUFGは、取締役会メンバー15名のうち2名を、意思決定の透明性確保と業務執行を担う取締役への監督・牽制を目的に証券取引所が定める独立性の要件を満たした社外取締役としています。また、取締役会傘下の委員会として、社外取締役、非業務執行取締役を委員長とし過半数を社外委員で構成する「監査委員会」「指名・報酬委員会」「リスク委員会」を設置しています。

▶ 取締役会傘下の委員会

委員会	審議事項	委員長
監査委員会	内部監査や法令遵守に関する事項	荒木 隆司 ・社外取締役 ・トヨタ自動車株式会社顧問
指名・報酬委員会	取締役候補の選任、重要な人事、役員の報酬などに関する事項	渡邊 一弘 ・社外取締役 ・弁護士
リスク委員会	リスク管理全般に関する重要事項や重大なコンプライアンス事案	川本 裕子 ・非業務執行取締役 ・早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授

(平成25年12月末現在)

監査役会

監査役5名のうち3名を、証券取引所が定める独立性の要件を満たした社外監査役としています。

アドバイザリーボード、グローバル・アドバイザリーボード

MUFGは経営会議の諮問機関として、社外有識者を委員とするアドバイザリーボードを定期的に開催しています。ここでは、グループ経営全般に対して、独立した立場から、活発な議論をいただき、有意義な指導・助言をいただいています。

平成25年7月には、国際金融規制の強化や事業のグローバル化に伴う環境の変化に柔軟かつ適切に対応するため、「グローバル・アドバイザリーボード」を新設しました。欧・米・アジア各地域の企業経営や金融規制・政府関係における有識者を委員として招聘し、グローバル企業としてのガバナンスや事業戦略などについて助言や提言をいただいています。



▶ アドバイザリーボードの方々(左から順に)

- ・福田慎一
(東京大学大学院経済学研究科教授)
- ・三村明夫
(新日鐵住金株式会社相談役名誉会長)
- ・長島徹
(帝人株式会社相談役)
- ・藤井眞理子
(東京大学先端科学技術研究センター教授)

(平成25年12月末現在)

▶ グローバル・アドバイザリーボードの方々(左から順に)

- ・Associate Professor Simon S.C. Tay
(サイモン・SC・テイ)
(シンガポール国際問題研究所会長、元シンガポール国会議員)
- ・Dr. Victor K Fung(ビクター・K・ファン)
(香港 馮氏集団(ファン・グループ)グループ会長、前国際商業会議所名誉会長)
- ・Dr. Gertrude Tumpel-Gugerell
(ゲルトルーデ・トゥンペル・グゲレル)
(オーストリア連邦鉄道ホールディング監査役、元欧州中央銀行役員専任理事)
- ・Ambassador John V. Roos(ジョン・V・ルース)
(前駐日米国大使)
- ・Lord (James) Sassoon, Kt((ジェームス・)サスン卿)
(ジャーディン・マセソン・ホールディングス取締役、元英国財務省商務大臣)



- ・Mr. John C. Dugan
(ジョン・C・デューガン)
(コヴィンガトン&バーリング法律事務所パートナー、元米国財務省通貨監督庁長官)

(平成25年12月末現在)

1 三菱東京UFJ銀行、アユタヤ銀行を子会社化

平成25年12月、三菱東京UFJ銀行は、タイの大手商業銀行であるアユタヤ銀行の発行済み株式72.01%を取得しました。

アユタヤ銀行はタイにおいて68年の歴史を有し、資産規模で同国内第5位の商業銀行です。タイ全国に展開する600を超える支店、子会社を通じて、預金や融資のほか、資産運用やクレジットカード、自動車ローンなどの総合的な金融サービスを提供しています。

三菱東京UFJ銀行は、バンコック支店開設以来50年以上にわたり、同国で法人業務を中心に事業を展開してきました。今後は、アユタヤ銀行のタイ国内のネットワークと三菱東京UFJ銀行のグローバルネットワークを通じて、個人のお客さまを含む幅広い層のお客さまに、より一層充実した金融サービスを提供していきます。



2 NISA 関連商品・サービスを拡充

MUFG各社では、NISA(平成26年1月から開始された少額投資非課税制度)向けの商品やサービスの拡充に努めています。三菱UFJ投信や国際投信投資顧問では、新たにNISA向けファンド4商品を設定しました。三菱東京UFJ銀行をはじめとするグループ各社では、ホームページや各種セミナーによる情報提供を行っているほか、お電話での相談も受け付けています。



ニサ NISA口座を取り扱うMUFGの金融機関

 三菱東京UFJ銀行	 三菱UFJ信託銀行	 三菱UFJモルガンスタンレー証券	 Kabubon(カブコム証券)
☎ 0120-860-777	☎ 0120-7272-14	☎ 0120-99-3890	☎ 0120-104-114

3 新商品「三菱東京UFJ-VISA デビット」の取り扱い開始

三菱東京UFJ銀行は、ショッピングや海外での現金引き出しに便利な「三菱東京UFJ-VISA デビット」の取り扱いを開始しました。これは、使ったその場で預金口座から利用額が引き落としとなるカードで、国内外のVisa加盟店やインターネット取引において、現金感覚でご利用いただけます。プリペイドカードのような前払いでもなく、クレジットカードのような後払いでもない即時決済型のため、資金管理がやすく、使い過ぎの心配がありません。また、ご利用限度額を設定することができる機能のほか、最大でご利用額の0.5%の自動キャッシュバックもあります。本サービスは、同行のホームページや店頭でお申し込みいただけます。



4 三菱東京UFJ銀行、モンゴルに駐在員事務所を開設

三菱東京UFJ銀行は、平成25年12月、モンゴルの首都ウランバートルに駐在員事務所を開設しました。

モンゴルは、石炭やウランをはじめとする鉱物資源を豊富に有する国で、近年、資源開発とその輸出により高い経済成長を遂げています。以前は、内陸国ゆえに、資源の輸送ルートの確保が困難でしたが、現在は、資源開発とともに空港や鉄道などのインフラ整備も進んでいます。日本は、同国との戦略的パートナーシップの強化に向け、日・モンゴル経済連携協定(EPA)の協議を進めており、日系企業の進出も年々増加しています。

同行は、これまでプロジェクト・ファイナンス(資源開発やインフラ整備案件向けの融資)などにより日系企業のビジネスを支援してきましたが、今後は、同地での情報収集を強化し、日系企業の進出サポートなどお客さまのさまざまなニーズにお応えしていきます。



ウランバートル市街

MUFGは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、次世代の担い手の育成に向けた取り組みや、海外拠点のボランティア活動などをご紹介します。

次世代の担い手育成に向けた取り組み

就業体験プログラム「ジョブシャドウ」

ジョブシャドウとは、高校生が社員と「影(シャドウ)」のように行動を共にすることにより、仕事の厳しさや楽しさを肌身で体験するプログラムで、MUFGは、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本、東京都教育庁と共同で開催しています。7回目となる平成25年度は、高校生約100名が三菱東京UFJ銀行や三菱UFJ信託銀行などグループ各社で仕事を体験しました。一日の体験でしたが、高校生からは「将来を考えるにあたり、とても参考になった」や「今の勉強に打ち込むことの大切さが改めてわかった」といった感想が寄せられました。



金融経済教育

MUFGでは、お金の大切さや金融の仕組みを楽しく学んでもらうため、平成25年度に200を超える学校の生徒たちに金融経済教育の授業を行いました。テレビ窓口センターでは、生徒たちは、銀行業務について授業を受けた後、テレビ窓口での受付を疑似体験しました。参加した生徒からは、「お金や銀行の仕組みがわかった」といった感想が寄せられました。



テレビ窓口受付体験

MUFGのグローバルボランティア活動

三菱東京UFJ銀行では、平成25年11月を海外拠点でのボランティア活動推進月間「MUFG Gives Back」*に設定し、約35の国や地域(約80拠点)で行員やその家族がさまざまなボランティア活動を行いました。



各地で働く行員が、学校での金融教育や、校舎の壁のペインティングから砂漠でのゴミ拾いまで、地域のニーズにあったボランティア活動を企画・実行しました。参加者からは、「地域の方々から感謝され、地域社会との交流も深まった」といった感想が寄せられました。

MUFGは今後も、国際社会の一員として、世界各地での社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

*東日本大震災時の海外からの支援に対する感謝の気持ちを込めて設定した活動名。「お返しする」という意味があります。参加者は、この活動名が入ったTシャツを着用しボランティアをしました。



学校の壁ペインティング(チリ、サンチャゴ支店)



砂漠でのゴミ拾い(サウジアラビア、ドバイ支店)

MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金 「日本プロサッカー選手会 チャリティーサッカー2013」

平成25年12月、三菱東京UFJ銀行は、「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」*の活動の一環として、仙台市で行われた「チャリティーサッカー2013」に奨学生31人を招待しました。奨学生は、試合観戦のほか、プロサッカー選手と手をつないで競技場に入場したり、元日本代表選手からサインをもらうなど、選手との交流を楽しみました。



写真提供：日本プロサッカー選手会

*被災地の中長期的な復興支援のため、三菱東京UFJ銀行が公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で創設した基金。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
「『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)